

ふるさと三条応援寄附金  
推進事業について

**問** 地元委託先から事業計画書もしくは提案書を提出してもらったのか、なぜ公募しなかったのか。

**答** 全国的にはふるさと納税の事業を受託している民間企業もあるが、返礼品の供給業者への発注および寄付者への発送、個々の供給事業者からの請求書の受け付けおよび支払いの事務、さらには寄付者のポイント管理システムの構築など、全てを引き受ける業者は少なく、かなりの手数料が必要なことから公募は行わなかった。

三条市の公共交通について

**問** デマンド交通はなくてはならない交通手段。複数乗車を呼び掛けているが、ハードルは高い。申し込み時に運送業者などで複数乗車となるようにコーディネートできないか。

**答** 事業者が利用状況を分析し、マッチングの手法について検討を始めた。

**問** JR利用の高校生が最終の八木ヶ鼻温泉行きバスを利用する

中、下田中の8校。早退とした学校は9校。

**問** 嵐南小・第一中プールの不具合の原因は何か。

**答** 質問しても非公開・差し控えるとの答弁では、審議ができない。我々は市民の代表である。詳細については調停に関わる内容につき、差し控えさせていただく。

**問** プールの水深は小学校で90cmと聞いている。90cmでは授業にならないのではないか。

**答** 90cmでも授業は可能である。過去に議会で非公開という事態は何回あったか。

**問** 記憶の新しいところでは、パルムをめぐる訴訟のときにあった。今後は係争中、公開できないということがないようにお願いできるか。

官製ワーキングプアの現状は

**問** 三条市職員の非正規職員の割合は39%で、期限付任用職員制度が低所得者層を増やす制度になっているのではないか。

**答** 職務に応じた役割分担を図りつつ、効率的で柔軟な行政執行体

**問** 場合、東三条駅20時13分着の利用者はわずか8分差で乗れない。時間調整できないのか。

**答** 要望について事業者に伝える。

高校生にも奨学金制度を

**問** 現在三条市の奨学金制度は貸与型。事実上、給付型に近い運用だ。いろんな条件の子どもがいる中、給付型にすべきでないか。

**答** 奨学金制度が平成22年度に廃止された。しかし、高校の授業料無償化が変化、公私間格差も広がる中、復活すべきだ。

**問** 奨学金の積み立てが財源。給付型により基金の取り崩しが早まる。現行制度を維持する。

**答** 高校生の奨学金は、国の授業料支援金制度、高等学校等修学支援金の活用状況を注視していき、現状では考えていない。

食品ロス対策について

**問** 全国で642万トンが食品ロス。三条市の現状はどうか。

**答** 食品廃棄物は、事業系の廃棄物であることから全容を把握し切っていない。他地域の取り組み状況を参考にしたい。まずは、市民への意識啓発を図っていき

**問** たいと考える。

**問** 完全堆肥化センターの活用や堆肥の搬入量はどうか。

**答** 25年度で262トン、26年度で501トンという状況。給食残渣は年々減っている。販売量も少しずつ増えている。



完熟堆肥化センターの堆肥

電力供給について

**問** 市施設の電力供給契約の取り組みと削減効果はどうか。

**答** 今年度入札した74施設は、今後も継続して経費の節減を図る。26年度で1870万円、27年度で3770万円の縮減と試算している。

りたい。また、検討委員会の内容をベースに検討したい。

保育所入所待機児童ゼロの対策は

**問** 毎年20名近い待機児童が発生しているのに、なぜ手が打てないのか。

**答** 年度途中での保育士の確保が難しいのが現状。

最終処分場について



新最終処分場のイメージ

新処分場・現処分場について問う。

**問** 関係自治会より同意を得て平成32年度に供用開始。現処分場は、用地を含め廃止に向け適切に対応する。

防災対策について

**問** 地震時、自動で電気を遮断する感震ブレーカーの普及が及ぼす効果はどうか。

**答** 震災時における火災の対処方法を指導、周知する。県の動向やその活用を含め検討したいと考える。

**問** 防災拠点に公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備はどうか。

**答** 災害時、通信が制限される中、有効と考える。基本的には、整備拡充の方向で進めたいと考える。

三条市の教育について

**問** 小中一体校構想の今後は。嵐南小・第一中のプール授業はどうか。

**答** 1月の大雪の際、各学校は通常通り授業を行えたのか。

**答** 平成30年4月の大崎中学校区小中一体校の整備後の予定はない。6月下旬からプール授業を行う。プール授業終了後、浮力材を調整し、可動床プールの復旧を行う予定。大雪時の臨時休校は、下田地域の5小学校と一ノ木戸小、大島

公共施設・公用車の維持管理

**問** スクールバス・公用車・公共施設の維持管理・更新について問う。

**答** 法令により適切に管理している。更新は、公用車は10年、10万キロ、バスは基準はないが計画的に更新。施設は、維持管理業務の中で点検している。

学校給食共同調理場について

**問** 委託施設の資格者について問う。半数以上を栄養士または調理師とし、栄養士が必ず給食を確認する。



下田学校給食共同調理場